

諸外国における IEC62209-2の制度化の状況

作業班 大西 輝夫

平成23年6月2日

IEC 62209-2の概要

- 人体に対し20 cm以内に近接して使用される無線機器（側頭部以外の利用）のSAR測定方法が国際的に標準規格化
 - － IEC 62209-2（国際規格）が平成22年3月に発行
- 様々な利用条件を考慮した測定方法
 - － 取り扱い説明書などに記載の「所定の使用」に従って設置（離隔距離，向きなど）し、試験
 - － 複数波源同時送信に対応
 - － 試験条件スクリーニング（高速測定など）の方法を提供

IEC 62209-1・2 概要

	IEC 62209-1	IEC 62209-2
適用範囲	側頭部で使用する無線機器	人体に対し20 cm以内に近接して使用される無線機器
対象部位	側頭部	側頭部を除く、頭部・胴体・四肢
想定対象機器	主に携帯電話 	側頭部以外の携帯電話・無線通信機器 
周波数	300 MHz – 3 GHz	30 MHz – 6 GHz
ファントム形状	頭部を模擬 	平面形状 
設置方法	頬の位置, 傾斜の位置	所定の使用状態を模擬
その他		基本的な部分は62209-1と同じ

米国・EUの状況

- 米国
 - IEC 62209-2と同様な測定法がFCC/OET Bulletin 65 (FCC OET 65) Supplement Cに記載
 - 詳細は、KDB(Knowledge Data Base)にて規程
- EU
 - 強制規格として運用されるためには IEC規格と同じ内容の CENELEC基本(BS)規格に加えて、上位規格であるCENELEC製品規格(PS)を欧州官報(OJ)に公示

EUの状況詳細

- IEC 62209-2は、並行投票にて承認されCENELEC基本規格(EN62209-2)として発行
- CENELEC TC106X WG1では上位規格のPSを策定中
 - タイトル: “Wireless communication devices intended to be used with the radiating part of the equipment in close proximity to the human body”
 - EN50360(側頭部SAR PS)のケースでは、所掌範囲、引用規格、定義、許容値、測定法、適合性評価が記述
 - 離隔距離の妥当性を要求する記述を追加
 - PS CD (Committee Draft)を投票中、8月締切
 - CDV (Committee Draft for Vote)を平成23年末までに完成予定

米国・EU以外の状況

- 豪州(Australian Communications and Media Authority)
 - 平成23年2月～平成25年1月
 - FCC OET 65及びIEC 62209-2/EN 62209-2
 - 平成25年2月以降
 - IEC 62209-2/EN 62209-2
- カナダ(Industry Canada: RSS-102)
 - IEC 62209-2 / FCC KDB procedures
- 韓国
 - 審議会を立ち上げ審議中
- 中国
 - 工業規格に採用決定。施行時期については未定